

13. (仮称) 南部コラボセンター建設に向けた地域説明会での  
「魅力ある学校づくり構想」の説明・質疑応答 (概要)

○日 時：平成 28 年 (2016 年) 5 月 17 日 (火) 19 時～

○場 所：庄内公民館

質問・意見等	豊中市からの回答
<p><b>小中再編にあたって、親の負担はどうなるのか？再編すると自宅から学校までの距離が遠くなる人は最長2km ぐらいになる。低学年の保護者なら送り迎えの必要性がでてくる。通学路の危険はないのか？再編すると、学校の数が少なくなる。先生は余ってくるのではないのか？跡地はどうなるのか。</b></p>	<p>再編後の学校について、通学路は当然安全を確保していきます。道路の幅等の関係で歩道の設置が無理であればグリーン舗装をする、注意喚起の看板を設置する等して対応していきたいと考えています。また、集団登校を実施したり、見守り隊のご協力をいただきたいと考えています。行政もご協力をお願いするだけではなく、ボランティアにお金を出すことも考えられます。学校の跡地についてはまだ何も決まっていません。教育委員会だけでは決められません。有効活用すべきですが、まちづくりの観点から、場合によっては一部を民間に売却することも考えられます。教員の採用は3市2町で実施しています。学校再編に関わって、新規採用者の人数も計画をしていくことになると思います。</p>
<p><b>庄内全体としては、豊南町も含めないのは何故か。ロイヤルコートができた時、千成小学校へ登校する際の安全面の確保を地域がするのが大変だったと聞いている。再編のときは安全面でもそうならないように検討してほしい。文部科学省の規定では通学可能な距離は4km 以内だと思うが、庄内の人は2km 以内でも不便と思うだろう。やりかけている問題をそのままにしないでほしい。道路の幅を拡げようとしているが、庄本のところもやってほしい。山手幹線がそこまで伸びてきている。府道だからとほったらかさないようにしてほしい。庄内の人は自転車と車で移動していることをしっかりわかってほしい。庄内南小の借地の件、庄内西小の敷地は地域の善意によって獲得された件、ていねいに対応していかないと、後々ややこしくなると思う。</b></p>	<p>平成 26 年 4 月に策定した「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」にも記載しているように、クラス替えができない学年を有する豊南小学校・高川小学校については今後、検討していく予定です。まずは庄内地域において、ソフト、ハード両面から通学の安全確保などの検討を進め、保護者、地域の皆さんのご理解、ご協力を得られるようにしたいと考えています。</p>
<p><b>私は6中出身、野球部だった。KK コンビ、桑田の時代。6中の敷地が狭く、野球の練習が思う存分できなかった(桑田に負けた)グラウンドが広ければ勝てたかも…新しい学校のグラウンドは広いグラウンドに是非してほしい。閉鎖される学校は豊中市の所有物なのか？</b></p>	<p>例えば、新しい学校から跡地の運動場まで移動して部活動をすることも考えられます。新校舎は設計の工夫で可能な限り運動場等のスペースを確保したいと考えています。なお、庄内南小学校と第六中学校の一部は借地です。</p>

<p><b>学校再編の2案は親の視点が大切である。まだ保護者には言っていないのか。通学路等の問題があるが、20年、30年の長い目。見て進めてほしい。</b></p>	<p>PTA、各種団体には説明に行っています。幼稚園にも園長先生に話をして説明に行こうとしているところです。Face to Faceで丁寧にご説明をし、一定のご理解を得たいと考えています。通学路については、様々な面で地域のご協力を得たいと考えています。</p>
<p><b>子育て支援のサロンが各小学校区にある。是非説明に来てほしい。当事者となる保護者のところに説明に来てください。</b></p>	<p>是非ご説明に伺いたいです。詳しいことを教えてください。</p>
<p><b>何を持って「夢」なのか？庄内南小学校の敷地のために毎年2300万円払っているのは本当か。</b></p>	<p>構想案を出す前に保護者を含めた地域の方々を対象として、ワークショップを開催しました。15歳の春にどんな姿になってほしいかを話し合っていたいただいた結果、あきらめない、がまん強い、夢を持つ、ということがご意見として出ました。夢を持つとは、少なくとも、自分の力で希望の進路を掴み取ることができることだと思っています。今回の魅力ある学校づくり構想では、家庭が大変で、放課後家に帰っても勉強できる環境ではない、あるいは、親の帰りが遅く、食事の時間が遅い子であれば、学習スペースや居場所があってもいいのではないかと考えています。これまでの取り組みを活かして、良いところは取り入れていきたいです。庄内南小学校は運動場の半分が借地であり、毎年2,300万円をお支払しています。</p>
<p><b>案2、どうして1～4年生と5～9年生に分けているのか？メリットがよくわからない。あと、今回の構想についてアンケートをとってほしい。みんなの前で意見を言える人ばかりではない。駅前若者にとってはいいが、庄内は高齢者が多い。</b></p>	<p>昔に比べて今の子どもたちは、身体面、精神面ともに発育が早くなっています。戦後から現在の6-3制が続いていますが、6-3制の課題としては、中学校進学時に環境変化に不応を起し、不登校になるなど、いわゆる中一ギャップがあります。これを解消するために小中一貫教育の取り組み、例えば、小学校5年生からする教科担任制を導入し、中学校での授業に慣れさせます。小学校の先生が中学校に進学した後の子どもに関わり続けることもできます。事例としては、東京の足立区では4-5制の小中一貫校、京都市では5-4制の小中一貫校があります。</p>
<p><b>再編によって学校の数が減った場合、先生はどうなるのか。あと先生の転勤の際、移動先に希望は聞かれるのか。</b></p>	<p>教職員の数は学級数に対応した定数が法律で定められています。課題が多い学校などでは、定数配置に加えて、豊中市が独自に教員を加配しています。例えば、人間関係に課題があるのに、単学級でクラス替えができない場合、教員を加配して2クラスに増やすことをしています。豊中市の教職員の異動や採用は、豊能地区3市2町（豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町）で調整・実施しています。</p>